



作品 | 金魚の戯れ |

恵那市教育研究所 恵那市長島町正家一丁目1番地1恵那市役所 西庁舎4階  
https://www.city.ena.lg.jp TEL (0573) 26-6850 FAX (0573) 26-2155

恵那市立明智中学校 2年 鈴木 妃麻里さん

## これからの保育を考える ～「共主体」の保育を目指して～



恵那市こども園園長会 副会長  
おさしま二葉こども園  
里見 みゆき

こども園は、保育園と幼稚園の機能を一体化した子供の育ちを切れ目なく支える施設として期待されています。単なる施設の一元化ではなく、多様化する社会の中で子供たちが未来を生きる力を育む「居場所」としての本質的な役割を担う必要があります。将来あるべき保育の姿とはすべての子供の人権と多様性を尊重し、「共主体」として共に学び合う開かれたコミュニティの場となる必要があると思います。

こども園は子供たち一人一人の尊厳が守られる場でなくてはなりません。そのためには保育の質を確保し、保育教諭が子供の発達を多角的に理解することが求められます。

そのために、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」に見られるような、非認知能力の育成に努めていく必要があります。自立心、協同性、道徳性・規範意識の芽生え、思考力の芽生えといった要素は、遊びや生活を通じた深い体験から育まれるものだと思います。子供たちが自分から興味をもって試行錯誤できるような環境の準備や、そのプロセスを尊重しながら見守ったり、邪魔しないようにアシストしたりすることができる専門性を持った保育教諭の存在が子供たちにとって不可欠といえると思います。

これからのこども園のキーワードは「共主体」とであると私は考えます。これは、子供、保護者、保育教諭、そして地域社会のすべてが、対等な関係で互いに学び合い、支え合い、共に成長していく主体であるという考え方です。

現代の子育ては孤立しがちです。こども園は単に子供を預かる場所ではなく、保護者の安心と信頼を生み出す「子育てのコミュニティ」の核となるべきだと思います。子供の姿を丁寧に共有し「この子の今」を保護者とともに理解し合うことで、家庭と園の連携は強くなります。

また、地域の子育て相談や未就園児親子への支援など、園の機能を地域に開放することですべての子育て家庭に対するセーフティネットとしての役割を担うこともできるのではないのでしょうか。

そして、保育教諭は専門性を高め合う「学びの主体」である必要があると考えます。様々な環境下にある子供たちを支えるためには職員間の密な情報共有と協働は欠かせません。

しかし、理想を実現していくためには大きな課題があると思います。最も深刻なのは、保育教諭の確保と質の向上です。子供たちと丁寧に向き合える環境づくりや専門性にあった待遇の改善や研修制度の充実などといった改革は急務であるといえるでしょう。

少子化が進む中、目指すべきは「生きる力」の土台となる「自分は大切にされている」「愛されている」という自己肯定感の子供たちがもつことができる保育の実現だと考えます。

こども園が、その礎となることができるよう子供たちや周りを取り巻く大人たちと共に学び、共に主体となる保育を目指していきたいと思っています。



# 令和7年度 全国学力・学習状況調査(恵那市の結果)



## 小学校 国語

全国との平均正答率を比較すると、全国からは4.8ポイント下回っています。内容別では、「知識及び技能」の「言葉の特徴や使い方に関する事項」や、「思考力、判断力、表現力等」の「C 読むこと」において課題が見られました。特に「登場人物の立場で自分の考えを記述式でまとめる」問題が正答率の低い問題でした。『目的に応じて、必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりする』ことを授業で大切にしていきたいと思います。



## 小学校 算数

全国との平均正答率を比較すると、全国からは9.0ポイント下回っています。領域別に見ると「B 図形」が、全国平均正答率と最も開きがあり、正答率が低い結果となっています。特に「図を見て、台形がどれかをすべて選ぶ問題」が正答率の低い問題でした。『「整った形」だけでなく、角度を変えて示す、ひっくり返して示す、少し条件を変えて示し、それが該当の図形といえるか問う』ことを授業で大切にしていきたいと思います。



## 小学校 理科 ※経年変化を示せないため、グラフはありません。

全国との平均正答率を比較すると、全国からは6.1ポイント下回っています。領域別に見ると「B区分「生命」を柱とする領域」が、全国平均正答率と最も開きがあります。また、「A区分「エネルギー」を柱とする領域」で、最も正答率が低い結果となっています。特に「3種類の金属について、電気を通すか、また、磁石に引き付けられるかを問う」問題が正答率の低い問題でした。『磁石につくかどうかと電気を通すかどうかを区別して整理する』ことを授業で取り入れていきたいと思います。

## 小学校



恵那市から見た全国平均との差(小学校 国語)



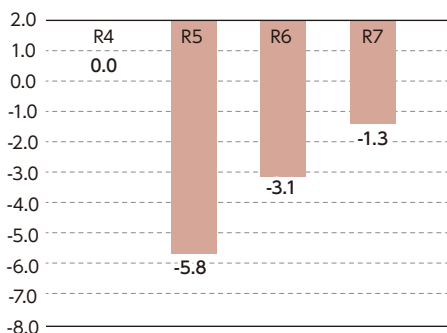
恵那市から見た全国平均との差(小学校 算数)



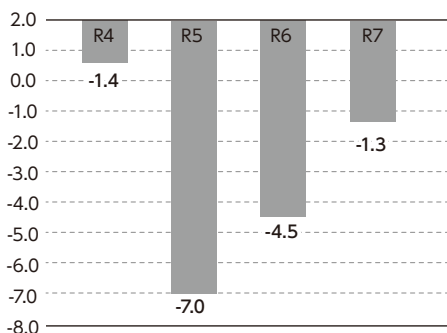
## 中学校



恵那市から見た全国平均との差(中学校 国語)



恵那市から見た全国平均との差(中学校 数学)



## 中学校 国語

全国との平均正答率を比較すると、全国からは1.3ポイント下回っています。ただし、R4年度の小学校6年生の時の結果と比べると6.3ポイント差が小さくなっています。

分類を見ると、「知識及び技能」の「言語の特徴や使い方に関する事項」において全国との差が大きくなっています。特に「文脈に即して漢字を正しく使うことができるかどうかをみる」問題が正答率の低い問題でした。『学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使う』ことを授業で大切にしていきたいと思います。



## 中学校 数学

全国との平均正答率を比較すると、全国からは1.3ポイント下回っています。ただし、R4年度の小学校6年生の時の結果と比べると5.9ポイント差が小さくなっています。

領域別に見ると「A 数と式」の正答率が、全国平均正答率と最も開きがあります。特に「式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明する」問題が正答率の低い問題でした。『数量や数量関係を文字で表すことを学習する際、文章からどのような式で表すことができるのかを考えるとともに、文字を使った式が何を表しているのかを考える問題に取り組む』ことを授業で大切にしていきたいと思います。



## 中学校 理科

※今年度からIRTスコアと標準偏差による得点表記となり、経年変化も示せないため、グラフはありません。

全国との平均IRTスコアを比較すると、全国より6ポイント上回っています。また、標準偏差は全国より7.2ポイント下回っていることからデータのばらつきの差が小さく、学力差が小さいという結果になっています。公開されている問題の正答率では、「エネルギーを柱とする領域」において全国との差が大きくなっています。特に「オームの法則が成り立つ場合に、実験結果として電圧と電流の大きさがどのような結果になるかを選ぶ」問題が正答率の低い問題でした。『オームの法則を学習する際に、実際に電圧を変えながら電流を測定し、数値を表やグラフに整理する活動を通して、比例の関係に気付けるようにする』ことを授業で大切にしたいと思います。

# 児童生徒質問紙より

今年度の「児童生徒質問紙」の結果について、「当てはまる」と「どちらかという当てはまる」まで含めて結果を分析しました。まず、児童生徒ともに全国や県の平均回答率を上回る、若しくは改善傾向や継続して高い回答率の質問項目には、主に以下のものがありました。(教科の学習に対する質問紙は除く)。

## 平均を上回る・改善傾向にある質問項目

- 1 朝食を毎日食べていますか
- 2 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか
- 6 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
- 12 学校に行くのは楽しいと思いますか
- 14 友達関係に満足していますか
- 20 学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか(オンライン授業の場合も含む)
- 25 これまでの生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありましたか
- 26 地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか(習い事は除く)
- 28 【小学】5年生(【中学】1、2年生のとき)のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか
- 34 【小学】5年生(【中学】1、2年生のとき)までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか
- 38 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか



## 平均を下回る・改善傾向が見られない質問項目

逆に、全国や県の平均を下回る、若しくは改善傾向が見られない質問項目には、主に以下のものがありました。

- 7 将来の夢や目標を持っていますか
- 13 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか
- 27 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか
- 29-1 あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成することができますと思いますか



## 児童生徒質問紙の結果について

これらの結果から「生活習慣」や「自己有用感」などが育まれていることが分かります。また、その要因として先生方が丁寧に児童生徒の話を聞き、認め、最後まで寄り添う姿勢があることで、友人関係や授業を含め、学校生活が充実していると考えられます。経年変化と質問紙との相関を見ると、「主体的・対話的で深い学び」や「個別最適な学び」「社会性」「郷土愛」などの肯定的な回答が高い方が教科での正答率も高いことが分かります。課題となっている向社会性での「地域のために自分でもできることがある」という意識の醸成、ICT活用での『ICTを使って〇〇できる』ようになるための工夫、対話的な活動についての価値の実感や主体的に取り組む家庭学習の充実などに取り組むことで、結果として教科の学習もさらに定着していくことが考えられます。以上が今年度の恵那市の全国学力状況調査の結果です。

このような結果や分析、以下の授業改善チェックリストを参考に、各校に合わせた教育活動を工夫していただきたいと思います。

さらに詳細な結果や分析は恵那市HPに掲載しています。こちらをご覧ください。

<https://www.city.ena.lg.jp/soshikiichiran/kyoikuinkai/kyoikukenyusho/2/1242.html>



## 授業改善チェックリスト

- ☐ 自分の考えをまとめるだけでなく、仲間の意見の根拠や論の確かさについて話し合う機会を設定している。
- ☐ 文脈を踏まえて正しい漢字の使い方について考えるなど、日常生活でも正しく漢字を使っているか、指導する場がある。
- ☐ 授業をまとめた後、条件が変わっても活用することができるか、一般化して確かめる場を設定している。
- ☐ 「文字から式」「式から数量や関係」などを説明する場を設定している。
- ☐ 児童生徒一人一人が身に付けた力と自分の学び方の適否を自覚するための価値付けを行っている。
- ☐ 終末で「家庭学習で〇〇を学習してきた」と自分の学習状況に応じた内容をもたせる工夫を行っている。
- ☐ 探究的な学習を通して、自分でも周りのためにできることがあると感じる場面が位置付けられている。
- ☐ ICT活用では資料の一斉提示だけでなく、多様な使い方を身に付けられる機会がある。





## はじめに

恵那市では、子供たちがふるさとを愛し、誇りに思う心を育む「郷土愛」を身に付けることを掲げています。この実現に向けて、各学校では総合的な学習の時間を活用し、「ふるさと学習」に力を入れています。この総合的な学習の時間の扱いについて、文科省からは、急速な技術革新への対応や教科横断的な資質・能力の育成の実現に向け、STEAM教育の推進が求められています。STEAM教育とは、科学・技術・工学・芸術・数学を統合し、創造力や問題解決力を育む学びのアプローチのことです。

恵那市でもその一環として、地域と連携した実践的な学びを通して、子供たちの課題発見力や創造力を育むことを目的に、「恵那STEAM教室」を開催しました。

本年度は、岩村町の老舗酒蔵「岩村醸造」が抱える業務上の課題をテーマに、実社会とつながる体験型プログラムを計画しました。生徒たちは、実際の店舗を訪問し、課題を見つけ、プログラミングによる解決策を考案・実装し、店頭での実証までを行いました。



## 参加生徒と日程

岩邑中学校4名、恵那北中学校1名、恵那東中学校1名の計6名が参加しました。

**1日目** 岩村醸造を訪問し  
7月29日 課題発見とアイデア出し



岩村醸造を訪れた時の様子

**2・3日目** 恵那未来キャンパスで  
8月7・8日 プログラミング学習



プログラミングを学ぶ様子

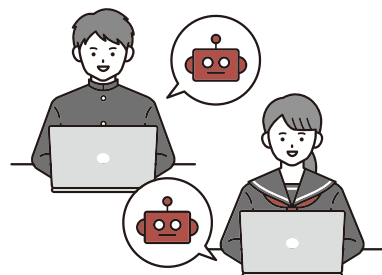
**4日目** 岩村醸造店頭で  
8月23日 Pepperによる実証実験



お客さんがPepperを使う様子

## 活動の流れ

初日は岩村醸造を訪問し、店員の方の業務を観察しながら、業務改善につながるアイデアを出し合いました。「お酒の紹介が大変そう」「ソフトクリームの注文を簡単にできるとよいのではないか」といった意見から、Pepperを活用したプログラムの構想が生まれました。2・3日目は株式会社サステナの協力のもと、Scratchを使ってプログラミングに挑戦。グループに分かれて試行錯誤を重ねながら、アイデアを形にしました。4日目には、完成したプログラムをPepperに搭載し、岩村醸造の店頭で実際にお客さんに使ってもらった実証実験を行いました。



## 成果と学び

今回の活動を通して、生徒たちは自分たちのアイデアが社会に活かされることを実感しました。「お酒の説明がよく分かった」「注文がPepperでできて面白い」「中学生がこんなプログラムを組めることに驚いた」など、来店者からの声に励まされる場面もありました。一方で、「会計までできると便利」といった店員さんからのアドバイスも受け、改善の余地があることも学びました。生徒からは、「プログラミングは初めての経験で、初めは難しいイメージしかわなかったけど、自分の中でどんどん新しいアイデアが生まれてきて、それを形にするためにいろいろと試してみることがとても楽しかった。」といった感想が寄せられ、主体的に学ぶ姿勢が育まれました。

参加した生徒が組んだ  
プログラムのPepperの  
動きはこちら



※音量注意。ゆっくり操作。

## 最後に

今回のSTEAM教室では、子供たちが地域の課題に向き合い、その解決に向けて挑戦する姿が見られました。自分のアイデアが社会で活かされる体験は、大きな自信となり、学びへの意欲にもつながったように感じます。

令和7年度全国学力・学習状況調査では、「地域や社会をよくするために、何かしてみたいと思いますか」という質問に対する小学生の肯定的な回答が国や県の回答よりも下回りました。恵那市としては、今回行ったSTEAM教室のように、学校での学びを地域や日常生活と結び付ける体験を、これからも継続して行っていきたいと考えています。各学校でも、学習したことを地域や日常につなげる活動をぜひ工夫し、STEMA教育を通した探究的な学びと主体性の充実を図っていただきたいです。

### 武並こども園

今年度は0歳児から5歳児68名が在園しています。また、子育て支援センターのほか一時預かり保育もあり他地域からのお子さんと一緒に遊んでいます。

日々の保育の中で、子供たちの「やってみたい」という思いや自分の思いを声にしていく経験を大切にしたいと考えています。

### 1.体を動かして



朝活動の時間など広い園庭では伝承遊びなど集団遊びがあちこちでできます。他の年齢の子が遊んでいる中にも、やりたい遊びにはいつの間にか小さい子も入り、遊びを通して大きい子の真似ができたり身のこなしがよくなったりと自然に身に付く力があります。未満児組でまだ発語のない小さな子でも、保育者の歌や手遊びをまねて手足を動かしたり、発達に合わせたサーキット遊びをしたりして体を動かすことが楽しいと思えるような遊びを取り入れています。

### 2.夏祭りを通して



園の夏祭りでは年長児が中心となり店員となって、子供たちが手作りした遊びのコーナーを保護者と一緒に回って楽しめます。年長児が今年はどんなお店を開きたいか、どうしたら楽しめるか、クラスでの話し合いから始まります。今までの経験をもとに、沢山の「やりたい」思いの中には、やはり子供の考えなので現実的ではない考えも出ますが否定せず候補にあげます。積極的な子の意見ばかりにならないよう何でも思っ

たことや友達と同じ意見でよいから声に出せる雰囲気づくりをしています。

「保育者が全園児で楽しめる夏祭りにしよう」との投げかけに話し合いの中で「それじゃあ、いちご組(0, 1歳児組)ができんやん」「小さい子ができんやつはやめたら?」「そんなら、~にするのは?」などと小さい子のことも考えたやりとりもありました。また、「〇〇の形がいい」「△△の方がいい」「じゃあ、ここが〇〇でここが△△にしてひつつければ?」等と折衷案も出ていました。色々な考えが出る中、保育者が仲立ちし、子供同士でも折り合いをつけながら決定していきました。他の年齢でも、発達に合わせ保育者の援助のもと自分の思いを仕草や言葉で伝えられる経験を積み重ねています。

夏祭りを準備する中では自分たちがやりたいものを自分たちで作れる楽しさがいっぱいでした。(絵の具だらけになるなど後片付けは大変でしたが…)当日は保護者も一緒に全園児が楽しむことができ、みんなの「やってみたい」が詰まったお祭りになりました。

### 3.地域の方に見守られ



園の近くには、太霊道という自然豊かな場所があります。広場で集団遊びや草花摘みをしたり大きな池の周辺を散策したり、園内ではできない体験や発見ができます。日ごろ太霊道の草刈りや整備をしてくださる里山を守る会の方々のおかげで安全に遊ぶことができています。年長児は毎年、会のリーダーの方から太霊道にまつわるお話も聞いています。今年は園の畑で育てたにんじんが大きく沢山収穫できたので、里山の会の方々を招待し、子供たちが手作りしたにんじんホットケーキと一緒に味わって頂きました。日頃のお礼の気持ちを伝え、ふれあう楽しいひと時が過ぎました。この他、武並塾という地域の方々と武並神社に出かけ神社のいわれを聞いて一緒に遊んでもらう機会やデイサービス訪問などがあり、地域の方々に見守っていただけることに感謝しています。

これからも様々な人に関わっていただきながら、子供たちの「やってみたい」の声を引き出せる保育をしていきたいと思えます。



## 恵那市科学作品展

(敬称略 題目・氏名は、作品表記のまま)

| 審査結果                                                                                            | 題目                                     | 学校名                | 氏名                   | 備考   |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|--------------------|----------------------|------|
| <br><b>優秀賞</b> | おもしろいし                                 | 恵那北小学校1年           | はやし ふうき              |      |
|                                                                                                 | きあげはのけんきゅう                             | 三郷小学校1年            | いちかわ ことね             |      |
|                                                                                                 | アリのひみつ                                 | 長島小学校2年            | 山 田 詠 介              |      |
|                                                                                                 | 石のひみつ                                  | 大井小学校2年            | わか山 ふみか              |      |
|                                                                                                 | 大きなひまわりをそだてたい                          | 三郷小学校2年            | やすだ いちと              | 三好学賞 |
|                                                                                                 | かわくってどういこと?～ぬれたくつ下のナゾをとけ!～             | 大井第二小学校3年          | 牧 野 結 花              |      |
|                                                                                                 | リベンジ!! ダンボールコンポスト                      | 東野小学校4年            | 西 尾 伊 織              |      |
|                                                                                                 | 気化熱って何だろう                              | 大井小学校5年            | 畔 柳 光 佑              |      |
|                                                                                                 | 失敗は成功のもと!?おいしい野菜が食べたい!!<br>～ぼくの野菜作り実験～ | 三郷小学校5年            | 下 川 歩                | 三好学賞 |
|                                                                                                 | アリの研究⑤ キイロシリアゲアリとムネアカオオアリ<br>続・発酵の不思議  | 大井小学校6年<br>岩邑小学校6年 | 河 合 る り の<br>高 瀬 琉 奈 | 三好学賞 |

## 読書感想文コンクール 恵那市作品審査会

(敬称略 題目は作品表記のまま)

| 審査結果                                                                                             |     | 感想文の題目           | 書名               | 学校名      | 氏名        |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|------------------|------------------|----------|-----------|
| <br><b>優秀賞</b> | 低学年 | ママが10人!          | ママが10にん?         | 大井小学校2年  | 藤 井 駿 仁   |
|                                                                                                  |     | ともだちは、むげんだよ      | ともだち             | 上矢作小学校1年 | 中 根 乙     |
|                                                                                                  | 中学年 | 食べることは生きること      | カレーライスを一から作る     | 中野方小学校4年 | 秋 田 琴 音   |
|                                                                                                  |     | 答えはひとつじゃない       | ねえねえ、なに見てる?      | 串原小学校4年  | 猪 島 祐 慶   |
|                                                                                                  | 高学年 | 地球の未来のため、じぶんのために | 恐竜がくれた夏休み        | 明智小学校5年  | 松 村 咲 来   |
|                                                                                                  |     | 自分らしく生きる         | ぼくの色、見つけた        | 明智小学校6年  | 伊 藤 彩 音   |
|                                                                                                  | 中学校 | 受け止めてくれる仲間が一緒なら  | 僕は上手にしゃべれない      | 恵那西中学校2年 | 加 藤 那 奈 美 |
|                                                                                                  |     | 「生きる」ということ       | 僕の庭 ―The friends | 上矢作中学校1年 | 中 根 詩     |

## 温 故 知 新

心に残る  
遊び・授業・先輩・職員

## 悔いのないように

恵那市立岩邑中学校長  
片桐 宣伸

私が、初任で赴任した学校で出会った教頭先生の話。退職まで残り数年、背格好も小さく、顔にはしわがいっぱい。その頃の私には、ずいぶん「おじいちゃん」に見えた教頭先生。

ある朝、教頭先生からこんな声をかけられました。「教室の鍵がひとつ未施錠だったよ」それは、私が日直勤務で校舎の施錠を行った日の翌朝でした。教頭先生は、毎日、帰宅前に校舎を一回りして安全確認をする人でした。次の日直勤務日翌朝には、「昨日は、トイレのスリッパが並んでなかったね。」また次の時は、「錠が受けに掛かっていなかったよ」「トイレの個室に流れていないところがあったよ」と、毎回毎回指導していただきました。

いつしか、「今日こそは」と入念に日直業務に臨む自分がいることに気がきます。そして、「昨日は完璧だった」と褒められた日には、それはウキウキしたものでした。今思えば、教頭先生から与えられたミッションは、初任者の私にとって、具体的で実現可能な課題でした。そして、その達成が自己有用感や自己肯定感となる『心のこもったプレゼント』だったのでしょ。

でも未熟な私の中には、「未施錠は許されないが、時間がない中でトイレの個室の中まで確認する必要はあるのか」という疑問があったのも事実です。だから、聞いてみたのです。「どうして教頭先生は、そこまでするのですか」と。すると、こう教えてくださいました。「もし、そこに誰かが倒れていたのに、それに気付いてあげられなかったとしたら、私はずっと後悔すると思う。」それから、教頭先生は、毎日毎日悔いのないよう校舎を一回りして帰宅するのです。退職の日の校舎巡回に、今の私なら、時間が無くともご一緒させていただくの…校長となった今、校舎を巡回していると、ときどき教頭先生の小さな背中が目に浮かぶのです。